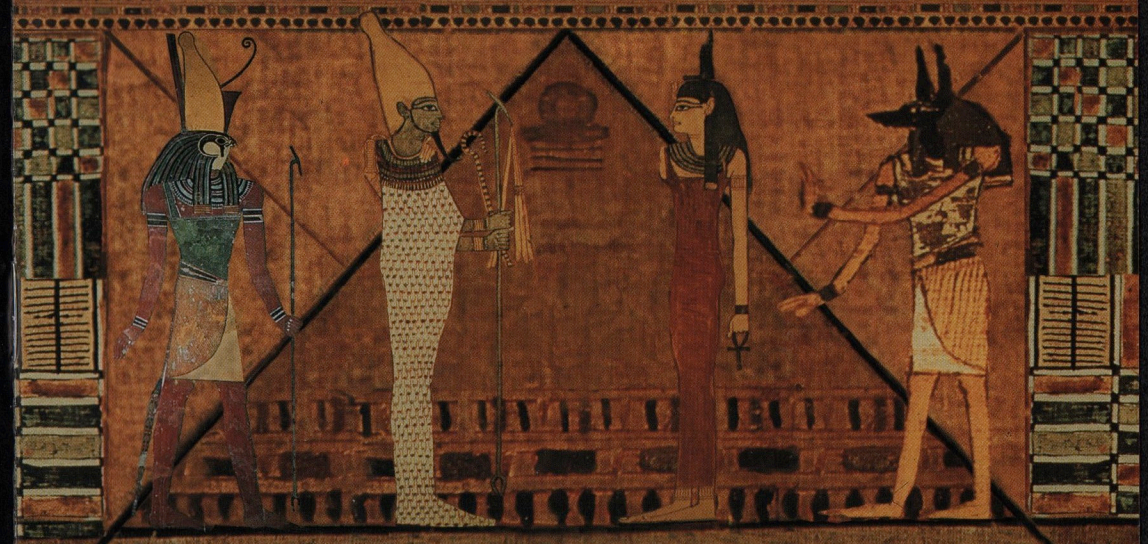
©1995 IBIS Inc./Ray Corporation

# ANKH

## アンク

### ピラミッドの謎

## ユーザーズマニュアルガイドブック



IBIS Inc./Ray Corporation

## ◆動作環境

●CPU　：68030 25MHZ以上
●メモリ　：8MB以上（空きメモリ4.5MB以上）
●表示装置　：640×480ドットで256色以上表示可能なもの
●CD-ROM　：倍速以上のドライブ
●必要空きディスク容量　：ハードディスクにはインストールされません。
●OS　：漢字Talk7.1、7.5対応
●機能拡張　：QuickTime 2.0以上

## ◆起動方法

●起動方法
「ANKH Macintosh版」のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、
CD-ROMのフォルダの中の「ANKH」アイコンをダブルクリックします。

## ◆終了方法

●終了方法
[Command]キーを押しながら[Q]のキーを押すと終了します。

※本製品は、権利者の許可なく賃借業に使用することを禁じます。
※本製品を権利者の許諾なしに、録音、録画、コピーすることは
法律で禁じられています。
※株式会社レイ及び権利者は、いかなる場合も本ソフトウェア
の使用に起因する、どの様な事態に関しても一切責任を負いません。
※MacintoshおよびQuickTimeは、米国Apple社の
登録商標および商標です。



# プロローグ

人は夢を見る。夢は、誰もが忘れかけていた記憶を再びよみがえらせたり、
ユングのいうような心の深海にある無意識からの呼びかけを、眠っている我々に
見せてくれる。普段自分自身では気にしていないつもりでも、ふとしたはずみで、
知覚に根づいたキーワードが、眠りの中で芽をだし、記憶の断片とつながって、
壮大な冒険となって、現われたりするものである。
「私」は、考古学に特に興味があった訳ではないが、古代文明の謎や、科学で
解明しようとしてもしきれないものに、むしろ関心があった。
仕事に追われていた私は、南の島でくつろいでいた。科学技術が進歩すれば
する程、地球のどこにいても仕事が追ってくるような、強迫観念にかられて、
こんな南の島まで逃げてきていた。そして、今朝“あの夢”を見たのである。
それは、こんな夢だった。
誰かわからないが、威厳のある、よく響く低い声が私に呼びかけていた。
「愚かな人間どもよ…」そう、私には聞こえた。その声は遠く遥かな昔から
私を呼んでいた。私はその時、あの“しるし”を見た。
それは、ピラミッドであった。そして古代の神々が、私の目の前に立ちはだ
かっていた。それは、おそらくエジプトの神々であろう。すると、暗闇の中から、
回転しながらこちらへ何かが飛んできた。
それは、アンクという、古代エジプトの王が神から授かる「不朽の活力」を
意味する護符であった。
目が覚めると私は、旅の支度を始めた。何かにつき動かされるようにして、
私はエジプトに向かうことになった。
私はエジプトに向かうにあたり、強力な助っ人を選んだ。それは、あくまで
パソコンであるけれど、頼もしい助っ人であることは間違いなかった。
私はピラミッドの謎に挑むことになった。
なぜ、誰でもない私なのか、それはきっとこれから目指すエジプトで明らかになる。

## ◆キャラクターの紹介

**◆アヌビス神**

死後の世界の神で、ジャッカルの姿か、その頭をした人物として表わされる。墓地の守護者、ミイラ作りの神として崇拝された。

**◆イシス神**

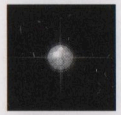
オシリス神の妻で、ホルス神の母。頭上に玉座を載せた女性または牛の角を持ち日輪をつけた女性として表わされる。死者の内臓を守る4女神の一人で強力な魔力を持つ女神。

**◆オシリス神**

冥界の支配者であり、イシス神の夫、ホルス神の父。体は再生復活を意味する緑色で、王であることを示す二重冠を載く。人間は死ぬとオシリス神の君臨する来世で暮らすと考えられていた。

**◆ホルス神**

ハヤブサの姿あるいはその頭をした人物として表わされる。オシリス神とイシス女神の息子。王権の守護者として現世を支配する。ファラオはホルス神の化身であると考えられていた。



**◆魂の玉**

神の声として様々な所に出現し、常に重要なヒントを与えてくれる。

**◆アル=マムーンの亡霊**

みすぼらしい老人の姿に変えられ冥界に行けずにさまようアル=マムーンの亡霊。

**◆観光客**

観光客を装う謎の女性。

**◆国籍不明の男**

英語で話しかけてくるが、国籍は不明。度々登場してくるこの男は、果たして善玉なのか悪玉なのか。

**◆アンティック屋の主人**

エジプトの老人／アンティック屋は重要なアイテムを持っている。

**◆パピルス屋の主人**

エジプト人／パピルス屋も何か重要なアイテムを持っているが、それを手に入れるには何かが必要。

**◆香料屋**

エジプト人／彼は何かを求めている。それさえ手渡せば…

**◆船上レストランの客**

エジプト人の若者／彼は何かをたくらんでいる。

**◆パイロット**

エジプト人／ヘリコプターに乗せてもらわない事には、ピラミッドには行けない。

**◆占い師**

怪しげなアラビア語を話す女性だが、その占いは・・・・何を意味するのか。



## ◆ステージのあらすじ

### ◆第1ステージ

「あなた」は、ピラミッドの謎に挑むために、出発の準備を整えエジプトに向かう。

### ◆第2ステージ

カイロ国際空港にあなたは降りたった。考える間もなく、あなたはハン・ハリーリー市場(カーン・アル=カリーリ市場)にいた。洪水のように流れる車とおびただしい人。あなたは　激しいめまいにおそわれてしまう。あなたに話しかけてくる人が全て、怪し気に見えた。その人々の中には、どうもあなたがここに来たと知った上で、会話を交している人が何人かいた。その時、古代の船や魂の声など不可解な幻覚があなたの目の前に現われるようになった。その幻覚はあなたを導く謎の力が創り出しているらしかった。

### ◆第3ステージ

どうにか、ピラミッドへやって来ることができた。ピラミッドの内部は、むせ返るような臭いであなたをひるませたが、あなたは中へ入っていった。目の前には、ただうす暗い通路が続いていくのだが、不思議なことに、観光客が一人もいない。あなたがいるこのピラミッドは、クフ王のピラミッドという大ピラミッドで、世界的に有名な観光地でもある。それ程の場所なのに、誰一人いないのだ。確かに何かの力を感じた。　その時、不意にハン・ハリーリー市場(カーン・アル=カリーリ市場)で出会った怪し気な男と出くわした。彼にも魂のようなものが見えるらしい。ということは、彼もあなたと同じ力に導かれて、ここまで来たのだろうか？しかし彼は、あなたとは何か違う。どこがどうというのではないが、何か独特な雰囲気をもっているのだ。

### ◆第4ステージ

今、思えば、あなたは生活に疲れていたのかもしれない。現実世界を脱け出すことができる「夢」の中で、あなたはあなたの肉体を離れ、大いなる力に導かれるまま、ここまで来てしまったのだ。「魂」がなぜ、あなたを選んだかは知らぬ。もはや、それはどうでもいいことであった。今や、全く新しい不思議な世界の中にいた。眩さを覚えるばかりの目の前の光景。あなたは、あなたを呼びここまで導いてきた“魂”の存在を、そこでみることになるのである。

# ◆ゲームのすすめ方

## メイン画面

マウスを動かすと、マウスポインター が に変わる場所があります。
そこでマウスをクリックすることにより、いろいろな操作を行うことができます。

さらに上の方を見ることができます。

ドアの中に入る。さらに奥に進む。この場合はヘリコプターに乗り込むことができます

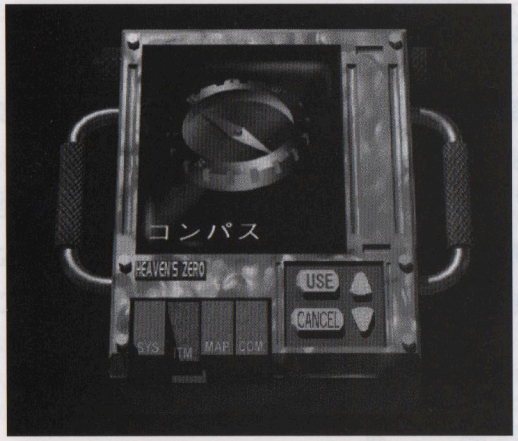
さらに右の方を見ることができます。

さらに左の方を見ることができます。

振り返ったり、その場面を離れたりすることができます。

右下のアイコンをクリックするとナビゲーターがアップになり、操作することができます。

## ナビゲーターアイテム画面




ITEMアイコンをクリックすると、持ち物を確認したり、使ったりすることができます。



## ナビゲーター通信画面

吉村作治先生からの通信が入る時には、呼び出し音とともに

CALLアイコンが表示されます。アイコンをクリックして、先生のヒントをよく聞いてください。

## ナビゲーター セーブ・ロード画面

ゲーム中で特定の場所に行くと、

SAVE/LOADアイコンが表示されることがあります。
そこでは、ゲームの途中経過をセーブしたり、ロードしたりすることができます。
右下のボタン ⇕ で5個のメモリーから1つを選んで SAVE ボタンを押すと、そのメモリーにゲームをセーブすることができます。
また LOAD ボタンを押すと、そのメモリーからゲームをロードすることができます。

# ◆時代背景

## ●古代エジプトの歴史

紀元前3000年頃、エジプトはナルメル（メネス）王というファラオによって全土が統一され、第1王朝が樹立された。第1王朝と第2王朝をあわせて初期王朝時代という。続く第3王朝から第6王朝までの時代を古王国時代といい、この時代は別名「ピラミッド時代」とも呼ばれるほど多くのピラミッドが建設された。クフ王の大ピラミッドもこの古王国時代に建てられたものである。その後、王の力が弱まり国内の統一が乱れ、第1中間期という混乱の時代が訪れる。しかし、テーベ出身の王により王国は統一され、中王国時代が始まる。王たちは古王国時代の栄光を偲びピラミッドを建設したが、その規模も技術も劣るため既に瓦礫の山と化している。そして再び国内は混乱の時代を迎え、アジアから侵入してきた謎の民族ヒクソスに占領される第2中間期に入る。その後、外国人の支配を打ち破ろうと立ち上がり第18王朝を興したイアフメス王によって国内は再統一され、古代エジプト史上、最も繁栄した新王国時代を迎える。首都テーベには壮大な神殿が建設され、王家の谷には歴代ファラオの墓が造られた。墓から出土した豪華な黄金製品で知られているツタンカーメン王はこの時代のファラオである。しかし第21王朝から再び第3中間期とよばれる混乱期になる。エジプトの国力は既に衰え、エジプトは第25王朝から末期王朝時代を迎えるが、かつての繁栄を取り戻すことは出来ない。紀元前332年、アレキサンダー大王によって征服され、プトレマイオス時代を経て、紀元前30年、クレオパトラ女王の自殺によってエジプトはローマ帝国の属州となる。この時、古代エジプト王朝史は幕を閉じるのである。

## ●古代エジプトの自然

エジプトはアフリカ大陸の北部に位置し、国土を貫いてナイル川が流れている。ギリシャの歴史家ヘロドトスが「エジプトはナイルの賜物」とその著書に書き記したように、エジプトはナイル川の恵を受けた古代文明である。気候は温暖で、地中海に面したデルタ地帯を除くと、雨のほとんど降らない乾燥気候であった。しかしナイル川は1年に1度、水源地に降る雨とキリマンジャロ山の雪解け水が流れ込むことによって、水かさが増し、氾濫した。しかしこの規則的なナイル川の洪水は畑から有害な塩分などを洗い流し、上流地帯から沃土を運んでくれたのである。そのお陰で畑には作物がよく実り、ナイル川流域にエジプト文明が誕生したのである。

## ●古代エジプトの王、ファラオ

ファラオとは大きな家を意味する言葉“ペルアア”に由来する。ナイル川の河口に広がるデルタ地帯を“下エジプト”、その上流のナイル河谷地帯のことを“上エジプト”と呼び、この二つの地域を合わせて、“上・下エジプト”と称した。両地域は気候も住んでいる人々も異なる地域で、下エジプトの王権を象徴するのはコブラ、上エジプトはハゲワシというようにいつも対比して考えられていた。エジプトの王は常にこの“上・下エジプトの王”という称号を持ち、頭上には下エジプトの赤冠、上エジプトの白冠を組み合わせた二重冠を被った。第1王朝のナルメル王から、プトレマイオス王朝のクレオパトラ女王まで、約3000年にわたって王権が受け継がれた。



## ●古代エジプトの死生観

古代エジプト人は死ぬと永遠の命アンクを授かって、来世で暮らすという思想を持っていた。この世は過ぎ行くものであり、死後、あの世で復活して永遠に生きると信じていたのである。それで来世で楽しく暮らすため、遺体はミイラにし、墓には来世で使う日用品や家具、食べ物、自分のかわりに働いてくれる召し使いを表すウシャブティという人形などを一緒に埋葬した。この来世観はエジプトの特異な自然環境から生まれたものである。西に沈む太陽は翌朝、必ず東の空から昇ってくる。古代のエジプト人はこの現象を一度死んだ太陽が、再生復活するのだと考えた。また毎年規則的に起こるナイル川の洪水によって水浸しになった土地が、水の引いた後に再び豊かな土地に蘇ることも再生復活を連想させた。古代エジプト文明はこの独特の死生観によって築かれたものなのである。

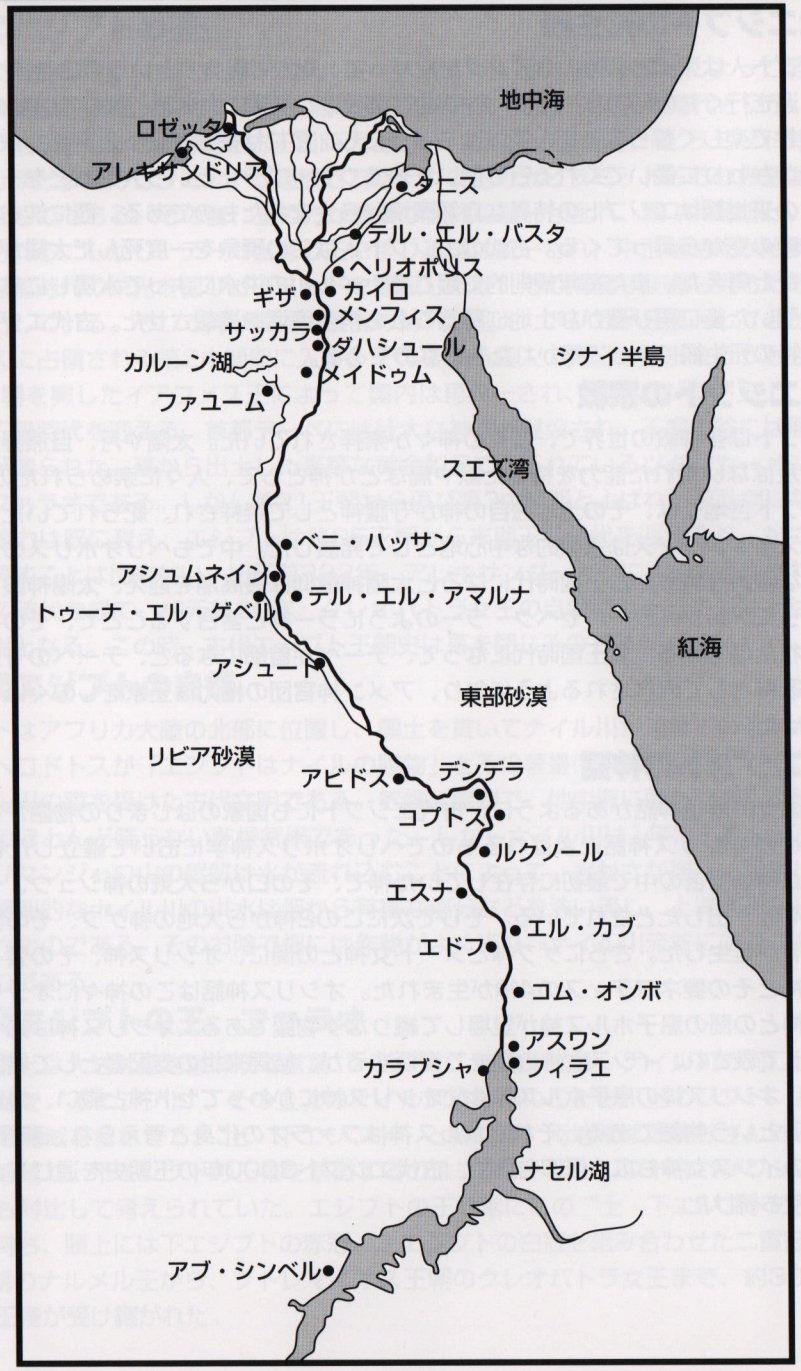
## ●古代エジプトの宗教

古代エジプトは多神教の世界で、多くの神々が崇拝されていた。太陽や月、自然界に住む人間の力の及ばない優れた能力を持った獣や鳥などが神として、人々に崇められたのである。またエジプト各地では、その土地独自の神が守護神として崇拝され、祀られていた。特にヘリオポリスとメンフィスは宗教的な中心地として発展した。中でもヘリオポリスの太陽神ラーは強大な権力を持ち、古王国時代になると太陽神信仰は最高潮を迎え、太陽神殿が建設された。さらにアメン・ラー、セベク・ラーのようにラー神と習合することで、その神の地位が高められたのである。新王国時代になって、テーベが首都になると、テーベの守護神アメンが、国家神として崇拝されるようになり、アメン神官団の権力は王家をしのぐほど大きなものになった。

## ●古代エジプトの神話

世界中の国々に創世神話があるように、古代エジプトにも国家のはじまりの物語がある。代表的なものがオシリス神話とよばれるものでヘリオポリス神学において確立した神話である。アトム神は宇宙の中で最初に存在していた神で、その口から大気の神シュウ、その妻テフネト神を吐き出したとされている。そして次にこの2神から大地の神ゲブ、その妻の天空の神ヌートが誕生した。さらにゲブ神とヌート女神との間に、オシリス神、その妻イシス女神、セト神とその妻ネフティスの4神が生まれた。オシリス神話はこの神々にオシリス神とイシス女神との間の息子ホルス神が登場して織りなす物語である。オシリス神は弟セト神の妬みをかって殺され、イシス女神の働きで復活するが、結局来世の支配者として君臨することになる。オシリス神の息子ホルス神は父オシリス神にかわってセト神と戦い、ついに現世の王となるという物語である。それでホルス神はファラオの化身と考えられ、崇拝された。一方、母のイシス女神も広く信仰を集め、古代エジプト3000年の王朝史を通じて、変わらぬ人気を持ち続けた。

## ◆エジプト全図／General map of Egypt






## ◆ギザ地区／General map of the Giza Necropolis

# ◆用語解説

## ◆アトゥム神　Atum

カイロ近郊にあるヘリオポリスの太陽神。通常、複合冠を被る男性として表わされる。ヘリオポリスは、古くから古代エジプトの太陽信仰の中心地であり、9柱の神々が崇拝され、アトゥム神はその最高神および世界の創造神であった。ヘリオポリスの創造神話によれば、アトゥム神は最初に自らと交わることによって大気の神シューと湿気の女神テフヌトを生み出し、その2人から大地の神ゲブと天空の女神ヌートが生まれ、さらにその2人からオシリス神、イシス女神、セト神、ネフティス女神の4神が生まれた。

## ◆アメン神　Amen

上エジプト第4ノモスのテーベ（古代名ワセト）の神。第4ノモスの中心が南のアルマントから北のテーベに移るに従いノモスの神としての位置を占めるようになる。特に中王国第12王朝以降は太陽神ラーと習合してアメン・ラー神となり国家の最高神にまでなった。アメン神は、通常2枚の羽根の付いた独特の冠を被った姿で表現される。

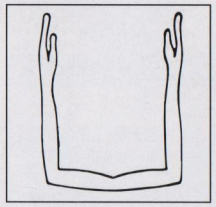
## ◆王の間　Kinng's Chamger

大ピラミッド内部、大回廊の奥にある部屋で、9世紀にアル＝マムーンによって発見されたが、空の花崗岩製石棺だけがあるにすぎなかった。奥行き10.5m、幅5.2m、高さ5.8mの大きな部屋で、天井、側面、床面とも赤色花崗岩が使われている。この部屋の上には重量軽減の間と呼ばれる特殊な構造の空間がある。また、東壁および北壁には通気孔とみられる穴が開けられている。石棺は一部が破壊されており、蓋は見つからなかった。このことにより、そのとき既に盗掘されていたものと考えられている。

## ◆王妃の間　Queen's Chamber

上昇通路の終点、大回廊の最下部に水平の通路があり、王妃の間へと続いている。この部屋は石灰岩で出来ており、奥行き5m、幅6mで、切妻型の天井には青色が塗られていた。王妃の間と名付けられたのは、男性は平らな墓に、女性は切妻型の屋根をもつ墓に埋葬するというアラブの習慣に由来しているのであって、実際に王妃が王と共に埋葬されることはなかった。この部屋の東壁には大回廊と同じような迫り出し式の壁龕が作られている。床面は仕上げられておらず、凹凸が顕著である。

## ◆カー　Ka



人は死んでも来世で再生すると信じられていた古代エジプトでは、人は霊魂バーと精霊カー、肉体アクの3つで構成されていると考えられていた。バーは鳥の姿をして来世と現世を往復し、カーは供物を取り入れて生き続けるため、バーやカーの帰る拠り所となる肉体が保存されていなければならなかった。そこで遺体をミイラにする方法が編み出された。カーは死者の性格や生命力の集まったものと考えられていた。



## ◆階段ピラミッド　Step Pyramid

初期王朝時代（第1～2王朝）のマスタバ（アラビア語でベンチを意味する）と呼ばれる台状の上部構造をもつ王墓が、第3王朝のジェセル王の時代に積み重ねられ、階段状ピラミッドとしてサッカラに出現した。当初は一辺63mのマスタバであったが、その後、4段の階段ピラミッドに変更され、最後に増築されて、基底部140m×128m、高さ60mの階段ピラミッドとなったのである。これは古代エジプト最古のピラミッドであり、巨大石造建築物であった。

## ◆河岸神殿　Valley Temple

ピラミッド本体・葬祭殿と参道で結ばれた神殿で、船着き場を兼ねていたため、ナイル川近くに建築された。王の埋葬儀式の際には、この神殿で「口開けの儀式」が執り行われたと考えられる。またここで王のミイラが作られたとする説もあるが、実際にはミイラ作りの象徴的な儀式が執り行われたとする見解もある。入り口を入ると、天井の無い中庭があり、奥に王の彫像を安置した多くの壁龕がある。「口開けの儀式」はこれら全ての彫像に行われたとされる。

## ◆下降通路　Descendent Passage

大ピラミッドの正規の入り口がら、勾配26度16分で地下の間へと下降する、長さ97mの通路である。通路の高さは約1.2m、幅は約１mと非常に狭く、屈んでしか進むことができない。花崗岩の栓で塞がれた上昇通路の入り口を過ぎてしばらく進んだ所からは、通路は岩盤に掘られている。途中には岩盤の亀裂が顕著な箇所がみられ、地下の間の手前の小部屋近くには、大回廊から降りて、グロットと呼ばれる小部屋を経由する、用途不明の竪穴がある。

## ◆カルトゥーシュ　Cartouche

楕円形の枠と水平線が組み合わされた中に王名が記されたもの。古代エジプト語ではShnwで、一般的な呼び名は、フランス語で「花枠」を表わす　Cartoucheによる。第4王朝時代から使用された。詳しくみると、この記号は決して終りのない縄になったロープの結び目を表現している。これは循環する回帰を象徴しており、おそらく太陽と関連している。王は2つのカルトゥーシュに囲まれた名をもっていた。一つは太陽神ラーについての言葉（プレノメン）であり、もう一つは誕生名であった。

## ◆クフ王　Khufu(Cheops)

第4王朝2番目の王で、ダハシュールとメイドゥムに計3つのピラミッドを建設したスネフル王と王妃ヘテプヘレスの息子であるとされる。ギザに、父親の建てたピラミッドを凌駕するほど　壮麗な大ピラミッドを建設した。王の彫像は、現在カイロ博物館に収蔵されている。アビドス出土の象牙製の小像のみが知られているだけで、今のところ石像は発見されていない。

## ◆国家神　State God

古代エジプトの宗教は多神教でエジプトの各地にはそれぞれ崇拝されている地方神がいた。ヘリオポリスとメンフィスが古代エジプトの宗教上の中心地で、とくにヘリオポリスの太陽神ラーの力は絶大であり、古王国時代には国家の最高神としての地位を確立していた。またラー神以外の神は、ラー神と習合することにより力を高めた。中王国、新王国時代にテーベが首都になると、テーベの主神であったアメン神は、やはりラー神と習合することで単なる地方神のひとつから　国家神へと力を強めた。

## ◆ジェド　Djed

ジェドは元々穀物の穂を結びつけた柱で安定と再生のシンボルである。オシリス神の背骨ともみなされ、オシリス神の象徴にもなっていた。オシリス信仰の中心地だったアビドスの神殿では1年に1度、豊かな収穫を願って、ジェド柱を建てる儀式が行われた。また、ジェド柱との関連とは別にオシリス神は古くは下エジプト第九州の首都ジェドで信仰されたことから「ジェドの主」と呼ばれるという説もある。

## ◆シリウス　Silius

全天でもっとも明るい星シリウスは、天の恵みの先がけとして特別な意味をもつ星だった。長年、天を観察した古代エジプト人は、夜明け前の東の空にシリウスが見える頃になると、ナイル川が氾濫を起こすことを知った。川の氾濫は、乾いた地に潤いをもたらし、氾濫の終わった大地には新たな芽生えが始まる。だから、古代エジプト人は、シリウスが出現する日を、新年の始まりとして祝い、星をイシス女神の化身として崇拝した。

## ◆重量軽減の間　Relieving Chamber

クフ王のピラミッド内部、王の間上部にある9本の梁で支えられた5層の空間のことである。これらの梁は王の間側壁と同様に花崗岩が使われ、上部は成型にばらつきがあり平面を成さないが、下面（空間の天井部分）は全体が面になるよう成型してあった。しかし最上部のみ切妻型に組み合わされた巨大な石灰岩で出来ている。

## ◆上昇通路　Ascending Passage

クフ王のピラミッド正規の入り口から下降通路を下ると、上昇通路の入り口がある。ここは現在も花崗岩の栓によって塞がれているため、大回廊に到達するためには、アル＝マムーンの盗掘口から入らなければならない。上昇通路は全長約40m、勾配は下降通路同様26度16分で、屈まなくては通れないほど狭く、天井が低い。現在も最下部に3個の花崗岩の栓が詰まったままになっている。

## ◆水平通路　Horizontal Passage

クフ王のピラミッド内部、上昇通路の終点から、水平に王妃の間へと続く長さ約38m、高さ約1.2m、幅約1mの通路である。王妃の間の手前で0.6mほど床面が急に下がっているが、その目的は不明である。1986年にフランス人建築家によってこの通路の西壁に穴が開けられ、中から砂が検出されている。この砂は、ギザ地区にある砂ではなく、角の取れた石



英砂であった。このことから、ピラミッド全体が切り石ブロックだけの積み上げで出来てはいない可能性が指摘された。また早稲田大学のレーダー探査によっても、この通路の西側に石灰岩ブロックとは違った反応が確認されており、新たな謎が提示されている。

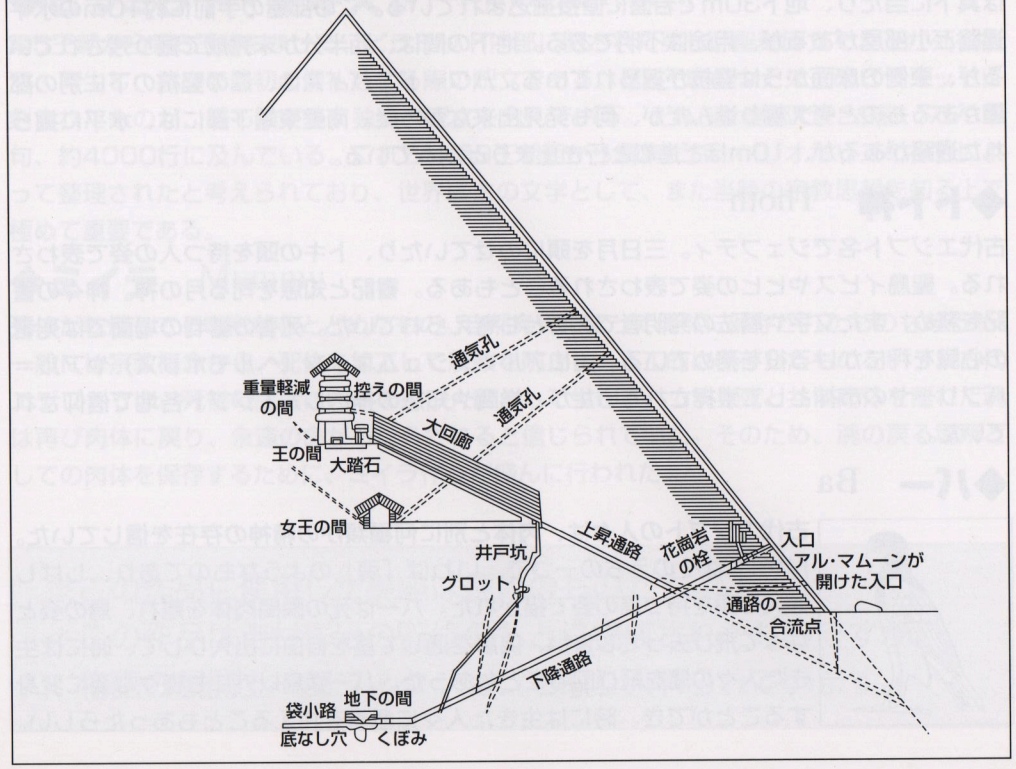
## ◆セト神　Seth

古代エジプトの砂漠の神、暴力の界神。大地の神ゲブと天空の女神ヌートの子で、オシリス神、イシス女神、ネフティス女神の兄弟。犬に似た空想的な奇獣、ブタ、ロバ、カバなどの姿、またはその頭部を持つ人物像として表現された。信仰の中心地は上エジプトのオンボスであり、先王朝時代から崇拝され、「オンボスの人（または）神」と呼ばれた。オシリス神話では、兄オシリスを殺害し、その息子ホルスと王位を争って敗れる悪神とされている。しかし一方で、セト神をホルス神と並ぶ王権の守護神とする見方もあった。

## ◆大回廊　Grand Gallery

クフ王のピラミッド内部、上昇通路と「王の間」の間にある全長約50m、幅2m、階段状の迫り出し天井の高さは8.5mもある部屋で、その規模から大回廊と呼ばれている。ピラミッド内部になぜこのように規模の大きな通路が作られたのか、様々な説があるが、未だに決着していない。多くのエジプト学者は、王の棺を埋葬した後に上昇通路を塞ぐための花崗岩の

### ◆クフ王の大ピラミッド内部構造



栓を用意し、滑り落とすための仕掛けであると解釈している。

## ◆大スフィンクス　Great Sphinx

ギザのカフラー王のピラミッド参道脇にあり、現在知られる最古のスフィンクスである。顔がカフラー王に似せて作られているとされ、この王のピラミッドを守護するものといわれるが、参道が大スフィンクスを避けるように斜めになっていることから、このピラミッドより古い時期に作られたという意見もある。胴体は自然の岩盤を掘り下げて作り出しており、自然の大岩を利用したとの説も唱えられている。

## ◆太陽の船　Solar Boat

王は死ぬと来世で太陽神ラーになると考えられており、その太陽神が天空を航行する時に使う船のこと。昼の船「マアネジェト」と夜の船「メセケテット」があった。1954年ギザのクフ王の大ピラミッドの南側で発見された太陽の船は復元され、現在は博物館で展示されている。レバノン杉で作られた全長43mに及ぶ大型船で、世界最古の大型木造船。さらに1987年、早稲田大学ピラミッド調査隊によりその西隣に第2の太陽の船の存在が確認されている。

## ◆地下の間　Subterranean Chamger

クフ王のピラミッド内部、下降通路の先にある未完成の部屋である。ピラミッドの頂部のほぼ真下に当たり、地下30mで岩盤に直接掘込まれている。この部屋の手前に約10mの水平通路と小部屋があるが、用途は不明である。地下の間は、西半分が未完成で掘り残されているが、東側の床面からは竪杭が掘られている。ハワード・バイスは、この竪杭の下に別の部屋があるものと考え掘り進んだが、何も発見出来なかった。南壁東端下部には、水平に掘られた通路があるが、10mほど進むと行き止まりとなっている。

## ◆トト神　Thoth

古代エジプト名でジェフティ。三日月を頭にのせていたり、トキの頭を持つ人の姿で表わされる。聖鳥イビスやヒヒの姿で表わされることもある。書記と知恵を司る月の神。神々の書記を務め、また文字や暦法の発明者であるとも考えられていた。死者の審判の場面では死者の心臓を秤にかける役を務めている。主にアル＝アシュムネイン（ヘルモポリス）やアル＝バフリーヤの市神として崇拝されていたが、学問や知恵の神としてエジプト各地で信仰されていた。

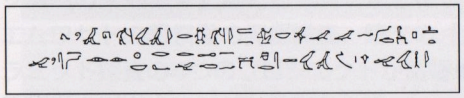
## ◆バー　Ba

古代エジプトの人々は、肉体と別に何種類かの精神の存在を信じていた。「バー」はそのうちの一つで、いわば「魂」のようなものであり、しばしば人の頭を持つ鳥の姿で描かれた。バーは死の瞬間肉体を離れ、鳥の姿となって飛び去ってしまい、偽扉を通じて墓を自由に出入りして、時には生きた人々の間を飛び回ることもあった。バーは鳥以外にも様々な姿に変身することができ、時には生きた人々に危害を加えることもあったらしい。



バーの他に、「自我」である「カー」や、バーと似た「霊」もしくは「幽霊」のような「アク」の存在が信じられていた。

## ◆ヒエログリフ　Hieroglyph



ギリシア語の「神聖な彫刻」という言葉に由来している。記念物のためだけに使われた文字の形態であるが、例外的に「死者の書」など宗教パピルスにも用いられた。ほとんどの文字が絵と同一であり、つなげては綴られない。表意文字と表音文字があり、母音は記されない。清書法は厳密ではなく、全体の調和から文字が選択・配列され、彩色される場合も多い。資料上最古の例は第1王朝であるが、すでに進歩著しく、起源は相当に古いと考えられる。最後のものはフィラエ島にある394年の銘で、この間、象形文字の原形を完全に保ってきた。

## ◆ピラミッド・コンプレックス　Pyramid Complex

砂漠の中にそびえ立つ角錐形のピラミッドは、単独で築かれた建造物ではなく、周囲に建てられたいくつかの付属建造物と一体となって、一つの複合体を形成している。このピラミッドを中心とする建造物の集合は、「ピラミッド複合体」もしくは「ピラミッド・コンプレックス」と呼ばれる。

## ◆ピラミッド・テキスト　Pyramid Text

第5王朝から第6王朝にかけて、ピラミッド内部に記された美しい聖刻碑文で、王が死後復活・再生し、彼岸で最初の儀礼をする際の呪文である。第5王朝のウナス王のピラミッドに刻まれたものが、最も数が多く独特の呪文を含んでいる。それらは全部で229節、759章句、約4000行に及んでいる。これらは第3王朝期から編集され、ヘリオポリスの神官によって整理されたと考えられており、世界最古の文学として、また当時の宗教思想を知る上で極めて重要である。

## ◆ミイラ　Mummy

死体が乾燥してその形状をとどめたもの。自然条件によって偶然に保存されたものもあるが、一般には宗教概念から、死体を加工して腐敗を防止し、人工的に保存したものをいう。古代エジプトでは、死後の生活は肉体を持つ人間として生きる、つまり死と共に肉体を離れた魂は再び肉体に戻り、永遠の命がもたらされると信じられていた。そのため、魂の戻る場所としての肉体を保存するために、ミイラ作りが盛んに行われた。

※この作品に使用した星座は現代のものです。
※この作品は吉村作治の監修のもとに構成されたものですが、物語の展開上一部フィクションも取り入れられています。

# ◆THE HISTORY OF EGYPT 年表

| 時代 | 事項 | |
|---|---|---|
| | BC. | |
| 先王朝時代 | 4500年ごろ | 農耕、牧畜がはじまる |
| 初期王朝時代（1・2王朝） | 3000年ごろ | ナルメル王がエジプト全土を統一し、王朝を築く |
| 古王国時代（3〜6王朝） | 2680年ごろ | ジェセル王のピラミッド建設 |
| | 2550年ごろ | ギザに3大ピラミッド建設 |
| 第1期中間期（7〜10王朝） | 2200年ごろ | 王の権力が弱まり、国内が乱れる |
| 中王国時代（11〜12王朝） | 2040年ごろ | メンチュヘテプ2世がエジプトを再統一 |
| | 1800年ごろ | ファユームの開拓 |
| 第2中間期（13〜17王朝） | 1790年ごろ | 王権が弱まり、国内が乱れる |
| | 1680年ごろ | ヒクソスがエジプトを占領、馬車と戦車がつたわる |
| 新王国時代（18〜20王朝） | 1567年ごろ | アハメス王、エジプトを再統一<br>首都をテーベとする |
| | 1510年ごろ | 王家の谷の造営はじまる |
| | 1400年ごろ | 王朝の絶頂期 |
| | 1375年ごろ | イクナテンの宗教改革 |
| | 1360年ごろ | ツタンカーメン王即位 |
| | 1300年ごろ | ラムセス2世がヒッタイト軍を破る |
| 第3中間期（21〜25王朝） | 935年ごろ | 国内が乱れ、異民族による支配がはじまる |
| 末期王朝時代（26〜31王朝） | 664年ごろ | サイスに第26王朝樹立される |
| | 332年ごろ | アレキサンダー大王がエジプトを支配 |
| プトレマイオス朝時代 | 305年ごろ | プトレマイオス朝はじまる<br>アレキサンドリアがヘレニズム文化の中心になる |
| | 30年ごろ | クレオパトラ7世が死んで、エジプト王朝滅亡<br>ローマの属州になる |



## 吉村作治（よしむらさくじ）

1943年、東京都に生まれる。早稲田大学第一文学部卒業。カイロ大学考古学研究所留学。1966年以来、早稲田大学古代エジプト調査隊を組織し、彩色階段や貴族墓、クフ王ピラミッド内の未知の空間などを発見。現在は、王家の谷・西谷の発掘調査、ラメセスII世王子カエムワセトの葬祭殿の発掘調査、第二の「太陽の船」の発掘・復元、衛星画像解析によるピラミッド探査の4つのプロジェクトが進行中。現在、早稲田大学人間科学部助教授（Ph.D）、早稲田大学古代エジプト調査室主任。（95.12.1現在）

## ◆主な著書

「ピラミッドは語る」（岩波書店）
「貴族の墓のミイラたち」（日本放送出版協会）
「エジプト史を掘る」「ファラオに逢いたい」（小学館）
「吉村作治の古代エジプト講義録」上・下巻（講談社）
「世界の遺跡探検術」「世界の食材探検術」（集英社）

他　多数

## ◆参考文献・資料


古代エジプト女王伝／吉村作治著　新潮選書
古代エジプト文明の謎／吉村作治監修・執筆　光文社
ピラミッド・新たなる謎／吉村作治著　光文社
ピラミッドの謎をハイテクで探る／吉村作治著　講談社
吉村作治の古代エジプト講義録(上・下)／吉村作治著　講談社
ピラミッドの謎／吉村作治著　講談社・現代新書
エジプト史を掘る／吉村作治著 小学館·小学館ライブラリー
ファラオの食卓－古代エジプト食物語／吉村作治著 小学館·小学館ライブラリー
ナイルのほとりの物語－古代エジプト遺跡紀行／吉村作治著 小学館·小学館ライブラリー
ファラオと死者の書古代エジプト人の死生観／吉村作治著 小学館·小学館ライブラリー
ピラミッド・謎と科学／吉村作治著　日本テレビ出版
古代エジプト探検史／ジャン・ベルクテール著　福田素子訳　吉村作治監修　創元社
エジプト博物館(世界の博物館17)／川村喜一編　講談社
エジプト(ブルーガイド海外版29)／吉村作治・近藤二郎・岩出まゆみ著　実業之日本社
ピラミッドは語る／吉村作治著　岩波書店・岩波ジュニア新書
さんちゃんのピラミッド／吉村作治著　学研
歴史　上・中・下／ヘロドトス著　松平千秋訳　岩波文庫
エジプト考古学　T.G.H.ジェイムズ著　酒井傳六訳　学生社
古代エジプトの神々／三笠宮崇仁著　日本放送出版協会
古代エジプト文明と遺跡(ビデオ全17巻セット)／吉村作治監修
株式会社ポニーキャニオン

## ◆スタッフ

| | |
|---|---|
| 企画・原作・制作総指揮 | 吉村　作治 |
| 声の出演 | 岡田　ルミ |
| | 櫻庭　裕士 |
| | 壌　晴彦 |
| | 湖亀　太郎 |
| | Bobby Dozier |
| | Maria Brackin |
| エグゼクティブプロデューサー | 分部　日出男 |
| プロデューサー | 上田　由雄 |
| | 西脇　隆門 |
| | 岩出　まゆみ |
| シナリオ | 高橋　由美 |
| 音　楽 | 松崎　裕子 |
| 資　料 | 近藤　二郎 |
| | (早稲田大学古代エジプト調査室) |
| 写　真 | 岩尾　克治 |
| 映像資料 | 新井　章治 |
| テクニカルスーパーバイザー | 天野　純 |
| プロダクションマネージャー | 百足　顕士 |
| プログラマー | 武井　信也 |
| | 波間　浩太郎 |
| テクニカルディレクター | 山本　久之 |
| コンピューターグラフィックス | 小倉　達郎 |
| | 星野　和成 |
| | 伏見　圭介 |
| | 城野　太一 |
| | 三木　雅弘 |
| ハリーアーティスト | 田所　貴司 |
| カラーリスト | 鵜飼　悦郎 |
| ペイントボックスアーティスト | 幸喜　睦子 |
| | 十河　明子 |
| サウンドミキサー | 三好　勝也 |
| プロモーション | 三島　太郎 |
| | 竹下　和美 |
| | 鈴木　晴美 |
| アート・ディレクター | 田所　貴司 |
| パッケージデザイン | 渡辺　悦子 |
| 協　力 | 早稲田大学古代エジプト調査室広報部 |
| | 有限会社ズー・カンパニー |
| | マックレイ　ラボラトリー |
| | 第一企画株式会社 |
| | 新村　賢治 |
| | 渡辺　勇喜 |
| | 加藤　健二郎 |
| | 熊谷　俊高 |
| | 西ノ園　修 |
| | 中木　誠 |
| 総監督 | 小田原　雅文 |



**<ゲームを楽しむ前に>**

●ゲーム中は部屋を明るくし、画面に近づきすぎないように操作しましょう。
●ゲームをするときは、健康のため、１時間ごとに10分～１５分の休憩をとって下さい。
●疲れているときや睡眠不足でのゲームは避けましょう。

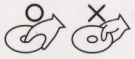
**<健康上のご注意>**

●ごくまれに、強い光りの刺激や点滅を受けたり、テレビ画面などをみていて、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を経験する人がいます。
このような経験のある人は、ゲームをする前に必ず医師に相談して下さい。
また、ゲーム中にこのような症状が起きたときは、直ぐにゲームをやめ、医師の診察を受けて下さい。

**<使用上のご注意>**

●出し方 中心部を押さえて取り出す

●入れ方 レーベル面の上から押さえて入れる

●持ち方  ディスク面に手を触れない

●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱って下さい。
●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取って下さい。
●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。
●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。

**<保管上のご注意>**

●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。
●ディスクは、使用後、元のケースに入れて保管して下さい。
●プラスチックケースの上に重いものを置いたり、落したりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

●企画原作 制作総指揮・エジプト考古学者 吉村作治
●製　　作：IBIS Inc. & Ray Corporation CD-ROM GAME PROJECT
●発 売 元：株式会社 レイ
〒106 東京都港区六本木6-15-21
PHONE 03-5410-4096　FAX 03-5410-5227

# ANKH

アンク

ピラミッドの謎